

(様式 1-3)

福島県(富岡町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	町民放射線被ばく健康管理事業	事業番号	(3)-23-3
交付団体	富岡町	事業実施主体(直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	(345,536(千円)) 350,321(千円)	全体事業費	(399,536(千円)) 350,321(千円)		
帰還環境整備に関する目標					
町民の健康管理を充実させるため、被ばく線量調査結果及び各種健康診断結果の一体管理を行い、帰還後の健康不安の解消及び帰還促進を図る。					
事業概要					
町民の放射線被ばく線量を管理し、健康被害対策、不安解消及び健康管理を目的として、内部被ばく検査・甲状腺検査を実施し、個人積算線量計を用いた放射線被ばく線量調査結果及び各種健康診断結果の一体管理を行う。 【富岡町第 3 次復興計画(第二次) P43 第 3 章 プロジェクト 4-3 町民の放射線健康管理の充実】 【富岡町保健・福祉アクションプラン 第 1 の柱 放射線量の検査などによる町民の安全・安心の確保】 【人と町とのつながりアクションプラン II 町内外サポート 放射線に対する健康サポート】 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
＜平成 31 年度＞ ○事業期間：平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日(毎年度実施) ○事業内容：ホールボディカウンター(WBC)による放射線内部被ばく検査及び甲状腺検査の実施 放射線による影響を把握するため個人積算線量計の貸与及び貸与分の報告書作成 出生者・転入者など、新たに町民となった方への健康手帳の交付 ○費用： 4,785 千円 ○事業実施体制 内部被ばく検査：(医)伸裕会 渡辺クリニック(南相馬市)、馬場医院(広野町)、福島赤十字病院(福島市)公益財団法人 震災復興支援放射能対策研究所(平田村)、財団法人ときわ会 いわき泌尿器科(いわき市)において委託(単価)契約により実施 甲状腺検査：震災復興支援放射能対策研究所(平田村) 検査受付関連資料送付業務：富岡町健康づくり課で実施 ＜平成 32 年度＞ 今年度同様の規模で継続して実施予定					
地域の帰還環境整備との関係					
ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を行い、個人積算線量計を用いて線量管理及び健康状態の把握を継続して行うことで、町民の健康面の不安を解消すると共に、長年に渡る避難生活の健康不安を和らげる事が出来る。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	線量計機器点検校正業務委託事業		事業番号	(3)-23-4
交付団体	富岡町		事業実施主体（直接/間接）		直接	
総交付対象事業費	(256,596(千円)) 264,767(千円)		全体事業費		(256,596(千円)) 264,767(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
町民の放射線に対する不安を解消するため個人線量計を貸与し、町内での生活及び町内への立ち入りの際の線量管理を適正に実施する。また、線量計の性能を維持するため、定期的な点検校正を実施する。						
事業概要						
町民の一時立ち入り時の線量管理や、放射線に対する不安を解消することを目的に、配布した個人線量計等の性能を維持するため、点検校正を実施する。						
【富岡町第二次災害復興計画 第 3 章 プロジェクト 4-3 町民の放射線健康管理の充実】						
【富岡町保健・福祉アクションプラン 第 1 の柱 放射線量の検査などによる町民の安全・安心の確保】						
【人と町とのつながりアクションプラン II 町内外サポート 放射線に対する健康サポート】						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
<平成 31 年度>						
○事業期間：平成 31 年 4 月 1 2 日～平成 32 年 3 月 3 1 日						
○事業内容：町民へ配布・貸出をしている線量計、車載型・歩行型(マッピングシステム)線量計及び放射線量表示・測定システムの点検校正を実施する。						
○費用：8,171 千円						
<平成 32 年度>						
今年度同様の規模で継続して実施予定						
地域の帰還環境整備との関係						
町内への立ち入りの際の線量管理を実施することで、放射線に関する不安を解消し、帰還への取り組みを促進させる。						
関連する事業の概要						
・町内放射線量の情報を定期的に広報紙や放射線情報まとめサイト等で周知する。						
・有識者による放射線に関する勉強会等のリスクコミュニケーション活動により、放射線に対する不安の解消や知識普及を図る。						
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						

(様式 1-3)

福島県富岡町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成31年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	15	事業名	自家消費野菜等放射能測定事業	事業番号	(3)-23-8
交付団体	富岡町		事業実施主体 (直接/間接)	富岡町	
総交付対象事業費	(85,152 (千円)) 103,924 (千円)		全体事業費	(85,152 (千円)) 103,924 (千円)	

帰還環境整備に関する目標

町内で生活する住民を初め、多くの住民に町内で採取・栽培された自家消費野菜等や井戸水等に含まれる放射性物質に対する情報提供や相談体制の強化を図り、得られた測定結果の周知広報により、食品に含まれる放射能に対する不安の払しょくや帰還促進を目的とした環境整備を行う。

ゲルマニウム半導体式放射能測定器、非破壊式放射能測定器を用いた測定体制や測定結果に関する相談体制を整える測定所を役場敷地内に整備し、町内で採取・栽培された作物の安全性をより便利に確認することのできる体制の構築を図る。

また、避難先での自家消費野菜に含まれる放射性セシウムの測定も実施し、内部被ばくに対する不安解消を図る。

事業概要

町民の放射能に関する不安解消のため、役場敷地内に測定所を整備し、既存の測定器に加え、サンプルチェンジャー付きゲルマニウム半導体式放射能測定器により測定を実施し、住民から依頼があった各種検体測定業務を行い、食品等に含まれる放射性物質に対する相談対応や、測定器の性能を維持するための点検校正を実施する。

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください
【富岡町第災害復興計画(第二次) P43 第3章 プロジェクト4-3 町民の放射線健康管理の充実】

当面の事業概要

<平成31年度>

○事業期間：平成31年4月1日～平成32年3月31日

○事業内容：役場敷地内に整備した測定所において、放射能測定機器を使用し、町民から依頼があった検体の測定及び住民自ら測定を行うための支援と測定結果に関する相談業務を行う。併せて必要な機器の点検校正を実施する。

○費用：18,772千円

<平成32年度>

○地域施設へ配備した機器により住民が自ら食品等の放射能測定を行うための体制構築・強化を図る。

地域の帰還環境整備との関係

業務の継続実施により、食品等に含まれる放射性物質に対する影響や内部被ばくに対する知識の醸成を行うことで、住民の健康維持を図ると共に、帰還の促進や帰還意欲の維持・醸成を図る。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	16	事業名	町内放射線モニタリング情報サイト整備事業	事業番号	(3)-23-9
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町		
総交付対象事業費	(28,645 (千円)) 39,749 (千円)	全体事業費		(28,645 (千円)) 39,749 (千円)	
帰還環境整備に関する目標					
町民の放射線に対する不安を解消し、帰還促進を図るため、これまで以上にきめ細やかな町内全域のモニタリングを実施し、放射線関連情報を広く発信する。					
事業概要					
走行サーベイ（町内の道路）による町内全域の調査を実施し、その他の機関が調査した富岡町に関連する情報と合わせ、専用の放射線情報サイトから情報を発信する。 【富岡町第二次災害復興計画 第 3 章 プロジェクト 4-3 町民の放射線健康管理の充実】 【富岡町保健・福祉アクションプラン 第 1 の柱 放射線量の検査などによる町民の安全・安心の確保】 【人と町とのつながりアクションプラン II 町内外サポート 放射線に対する健康サポート】 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 31 年度> ○事業期間：平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 ○事業内容：走行サーベイによる町内全域の放射線モニタリングを実施する。 調査結果を放射線関連情報と合わせて町民に発信する。 ○費用：11,104 千円					
<平成 32 年度> 今年度同様の規模で継続して実施予定					
地域の帰還環境整備との関係					
町内の放射線情報を発信することで、放射線に対する不安の解消につなげる。 原子力発電所事故後からの線量の変化や除染後の線量を確認することで、帰還への取り組みを促進させる。					
関連する事業の概要					
・有識者による放射線に関する勉強会等のリスクコミュニケーション活動により、放射線に対する不安の解消や知識普及を図る。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県(富岡町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	33	事業名	営農再開支援水利施設等保全事業 (富岡地区)	事業番号	(5)-40-2
交付団体		富岡町	事業実施主体(直接/間接)	富岡町(直接)	
総交付対象事業費		(32,999(千円)) 53,561(千円)	全体事業費	(32,999(千円)) 53,561(千円)	

帰還環境整備に関する目標

平成 29 年 4 月に帰還困難区域を除き避難指示が解除されたが、原子力災害による 7 年以上の避難により、地域農業者を中心とした農業用施設並びに農用地の適切な保全管理ができず、農業用施設を管理する地域農業者も減少し、従前のように適切な維持管理ができず施設の劣化、機能低下が進んでいる。

このため、本事業を導入して農業用水利施設等の保全管理を進めることにより、速やかに営農再開が実現できる状況を構築し、今後営農再開が見込まれる地域農業者の営農再開意欲の向上と住民の帰還促進、地域農業の再建を図る。

事業概要

(1) 事業の概要

本事業の対象となる地区は、平成 23 年 3 月 11 日発災の東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の影響により長期間の避難指示区域となっていたため、農地等の適正な管理ができなかった地区である。当該地区では雑草の繁茂など農地や水利施設周辺の荒廃している状況となっているため、農業用水利施設等の保全を行うことにより、営農を再開できる環境を整備する。

(2) 事業量

農業用水利施設等の保全

1) 農道 L=19 km

(3) 復興計画への位置づけ

【富岡町復興計画】

- ・第 3 章 基本方針を実現するための重点プロジェクト「3-1 農業・農地再生に向けた取り組み」に位置付
- ・第 5 章 分野別の具体的取り組み「5-3 地域産業の新たな取り組みの推進(1) 農業・林業・漁業の再生への取り組み」に位置付

当面の事業概要

<平成 31 年度>

・農業用水利施設等の保全

1) 農道 L=19 km

地域の帰還環境整備との関係

町内の営農再開促進・農業復興の加速化には、地域営農にとって重要な施設である農道の機能回復が必要であり、平成 25 年度より水稻の実証試験栽培が行われ営農再開へ向け準備が進められており、住民の農業への意欲を高め営農再開を促進し、農業復興の加速化に結びつく。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	曲田地区都市再生区画整理事業（被災市街地復興土地 区画整理事業）（基金型）	事業番号	(1)-9-2
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）		
総交付対象事業費	(155,700（千円） 328,700（千円）	全体事業費	(317,000（千円） 388,000（千円）		
帰還環境整備に関する目標、					
<p>現在町は、平成 29 年 4 月に一部地域を除き避難指示が解除され、復旧・復興を本格的に進めており、その中で曲田土地区画整理事業は富岡町災害復興計画（第二次）において「市街地復興先行ゾーン」に位置付け、町再生の第一歩として、居住環境・生活サービス機能の集約・充実を図るエリアである。平成 29 年 10 月には JR 常磐線竜田駅-富岡駅間が再開通となり、駅前広場周辺の整備を平成 32 年度までに完成させることにより玄関口の機能向上を図り、津波被害地域並びに町内帰還希望者の代替居住地としての優良な住宅地とあわせ復興の中核拠点を整備する。</p>					
事業概要					
<p>平成 23 年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により甚大な被害を受けた JR 常磐線富岡駅近郊（曲田土地区画整理地内）は、富岡町都市計画事業 曲田土地区画整理事業（平成 8 年事業認可～平成 32 年事業完了予定）の中心であり、まちづくりの要となる箇所であった。また、平成 27 年 6 月に策定した富岡町災害復興計画（第二次）においても居住環境・生活サービス機能の集約・充実を図り、町の再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める地区とされており、特に被害が大きかった駅前周辺の計画変更を平成 27 年度に行い、JR 常磐線富岡駅の駅前広場等を含めた町の玄関口、そして津波被害地域並びに町内帰還希望者の代替居住地としての優良な住宅地とあわせ復興の中核拠点を整備するため、街区公園工事、整地工事、都市計画道路工事、移転補償を実施する。</p> <p>（事業間流用による経費の変更）（平成31年1月17日） 当初の予定より工事工程が短縮され、一部工事の前倒し実施に伴い工事費が増額したため、(1)-1-2 富岡町災害公営住宅整備事業(基金型)（曲田地内）から 28,000 千円（国費：21,000 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 155,700 千円（国費 116,775 千円）から 183,700 千円（国費 137,775 千円）に増額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください 富岡町災害復興計画（第二次）の P49～50 の土地利用方針において、当該地区は「市街地復興先行ゾーン」に位置付け。P51 の整備施設と機能において、駅前エリアとして駅前広場が位置付け。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 30・31 年度></p> <p>・街区公園工事、整地工事、都市計画道路工事、区画街路工事、上下水道工事、電柱移転、確定測量、水道設計</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>当該地区は、町再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める「市街地復興先行ゾーン」として、帰還する住民の居住環境、生活サービス機能の集約・充実を図る場所であり、JR で平成 29 年に再開された JR 富岡駅と合わせて、駅前広場周辺を整備することにより町の復興拠点の機能や利便性の向上を図る。</p>					
関連する事業の概要					
<p>曲田土地区画整理事業地内にできる復興拠点から県道広野小高線と国道 6 号を結ぶアクセス道路を整備することにより、拠点としての機能向上と駅周辺の立体的な利用促進を図る。</p> <p>※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。</p>					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					

交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県富岡町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成31年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	53	事業名	農業基盤整備促進事業(富岡地区)(基金型)	事業番号	(5)-42-3
交付団体		富岡町	事業実施主体(直接/間接)		富岡町
総交付対象事業費		700,000(千円)	全体事業費		700,000(千円)
帰還環境整備に関する目標					
<p>本町は、東日本大震災による津波被災と原発事故に伴う避難指示等により住民が長期間の避難したことで、町内の農地及びかんがい施設等の維持管理が行われない期間が長期間となり、営農再開する農地環境が整っていないため、町の農業復興の大きな支障となっている。</p> <p>このため、本事業により営農再開される農地の整備及び土地改良施設の補修を行い、営農再開が実現できる状況を構築し、営農意欲のある住民の帰還促進と地域農業の再建を図る。</p>					
事業概要					
<p>本地域は、長期間の避難指示等により、農地と土地改良施設の適正な維持管理ができない状況であったため、営農基盤としての機能が著しく低下しているため営農が困難な状況となっている。</p> <p>そのため、ほ場及び土地改良施設等の機能を回復させるための基盤整備を実施し、営農が再開できる環境を構築するものである。</p> <p>○対象事業：調査・設計等 N=1式、基盤整備工 N=1式</p> <p>【富岡町災害復興計画(第2次)P38】 第3章 産業再生・創出(農業・農地再生に向けた取り組み)</p>					
当面の事業概要					
<p><平成31年度～平成32年度></p> <p>1. 調査・設計等：N=1式</p> <p>2. 基盤整備工事：A=18.0ha</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>富岡町にとって農業は町の基幹産業であり、営農できる農業環境の整備は、富岡町災害復興計画(第2次)において農業・農地の再生に向けた取り組みの重要プロジェクトとして位置付けている。</p> <p>そのため、営農意欲のある農家が町内農地での農業を再開し、順次農業者及びこれに関係する従事者等の帰還促進に向け、本事業の導入による対策実施が必要である。</p>					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県富岡町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	54	事業名	営農再開支援水利施設等保全事業(富岡地区)(基金型)	事業番号	(5)-40-6
交付団体	富岡町		事業実施主体(直接/間接)	富岡町	
総交付対象事業費	600,000(千円)		全体事業費	600,000(千円)	

帰還環境整備に関する目標

本町は、東日本大震災による津波被災と原発事故に伴う避難指示等により住民が長期間の避難したことで、町内の農地及びかんがい施設等の維持管理が行われない期間が長期間となり、営農再開する農地環境が整っていないため、町の農業復興の大きな支障となっている。

このため、本事業により営農再開される農地の整備及び土地改良施設の補修を行い、営農再開が実現できる状況を構築し、営農意欲のある住民の帰還促進と地域農業の再建を図る。

事業概要

本地域は、長期間の避難指示等により、農業水利施設(頭首工及び取水口、用排水路、ため池、ゲート等)が適正に維持管理ができない状況であったため、施設の機能が著しく低下しており、農業用水の適正な取水、通水量の調整及び確保ができない状況となっている。

そのため、農業水利施設の現状を把握するため、点検・除草・保全管理と設計を行い、これに基づき補修及び補強工事を実施し、あわせて営農状況にあわせた水利用となることから、水管理及び施設管理の管理体制についても検討を行うことで、営農が再開できる環境を整備するものである。

○対象施設：農業水利施設 N=1 式

【富岡町災害復興計画(第2次)P38】 第3章 産業再生・創出(農業・農地再生に向けた取り組み)

当面の事業概要

<平成 31 年度>

1. 施設点検・除草・保全管理：N=1 式
2. 施設設計：N=1 式
3. 補修工事：N=1 式

<平成 32 年度>

- ・補修工事：N=1 式

地域の帰還環境整備との関係

富岡町にとって農業は町の基幹産業であり、農業用水を営農される者のほ場まで供給配分させ、農業環境の整備を実施することは、富岡町災害復興計画(第2次)において農業・農地の再生に向けた取り組みの重要プロジェクトとして位置付けている。

そのため、営農意欲ある農家が町内農地での農業を再開し、順次農業者及びこれに関係する従事者当の帰還環境整備の促進に向け、本事業の導入による対策実施が必要である。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	